

'96香港～北京ラリー「三菱ランサーディーラーチーム」派遣メカニック選考会開催

## 下谷光俊氏 **CMSC** 栃木、中根孝氏 **CMSC** 広島 両名が派遣メカニックに選ばれる。'96香港～北京ラリー



今年の「香港～北京ラリー」は総走行距離約3700kmを10月19～25日の7日間にわたり走破するハイスピードラリー。三菱とスバルがマンユファクチャラーズタイトル獲得を賭けて戦う、アジア・パシフィックラリー選手権の重要な最終戦です。三菱自動車/ラリーアートでは、このラリーに篠塚建次郎選手で参戦する「三菱ランサーディーラーチーム」のメカニック5名を決定しました。

全国のギャラン系販売会社129社約5400名のサービスエンジニアの中から各社が推薦。8月21～23日、静岡県御殿場市中畑特設会場で行われた最終選考会には、さらに小論文審査で選抜された22名が参加しました。選考プログラムは、車両メンテナンスの技術を審査する「メカニカル審査」、ラリー中の移動の際に欠くことのできないサービスカーの運転技術を審査する「ドライビング審査」と、本番に優るとも劣らない厳しい内容となりました。

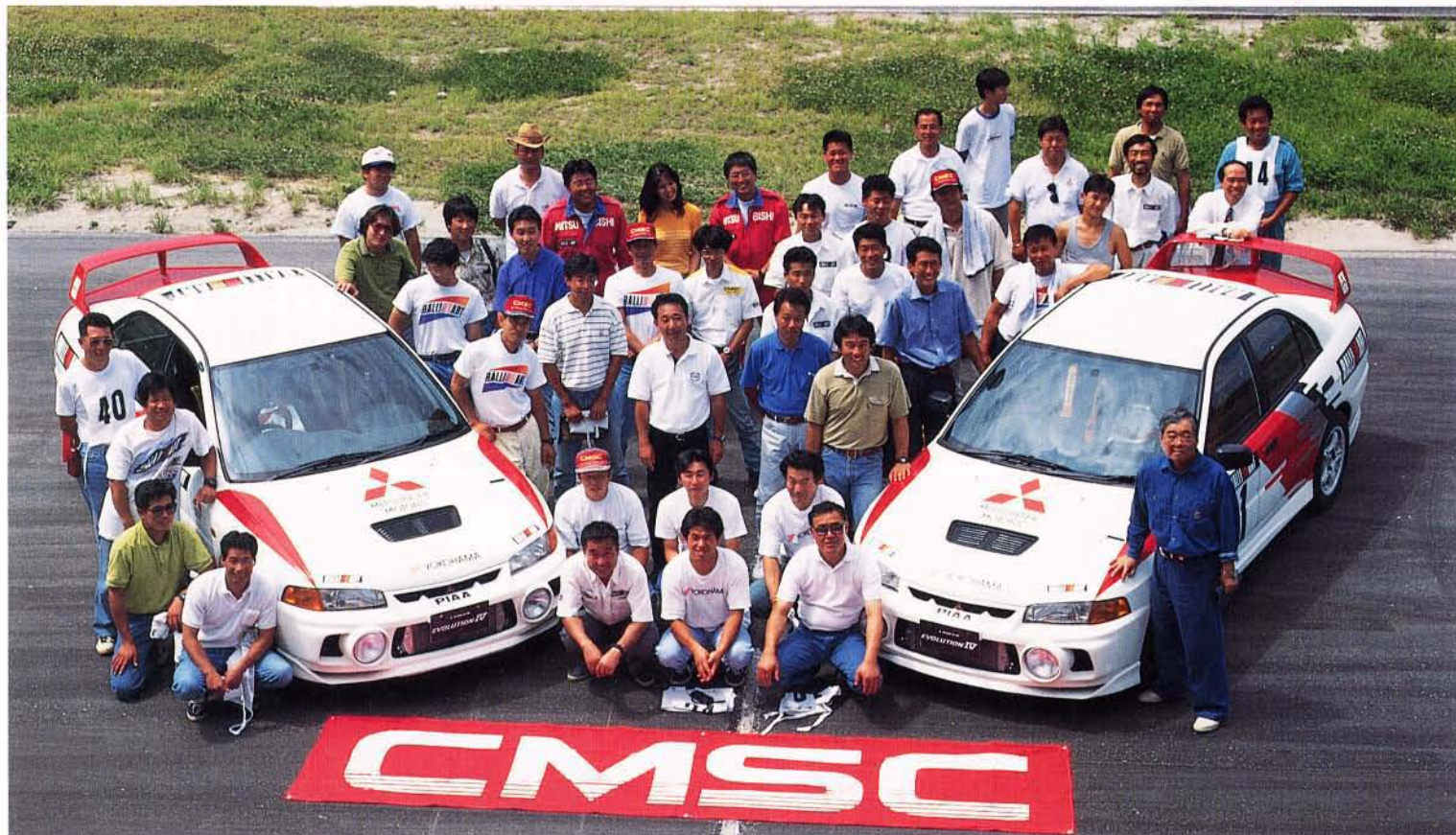
そして今回、CMSC栃木の下谷光俊氏(栃木三菱社員)、CMSC広島の中根孝氏(中国三菱社員)が見

事、派遣メカニックに選ばれました。下谷氏は「苦しい思いを度々しましたが合格でき、とても嬉しいです。篠塚選手のサポートができると思うと感無量。選考会に参加した皆の分も頑張りたいです」、中根氏は「ラリーが好きでこの仕事を選んだようなもの。海外ラリーをこの目で見られるのが本当に嬉しいです。皆の邪魔だけはしないよう頑張り、今後に生かせるようにしたいです」と両者喜びのコメント。CMSCクラブ員からはこれまでも、'93年に大阪の杉本達也氏(近畿三菱社員)、島根の岡本春生氏(島根三菱社員)、'94年に群馬の飯塚恒守氏(群馬三菱社員)が選ばれ、活躍しました。今回選抜された両名もきっとと思う存分力を発揮してくれる事でしょう。

ドライバーの篠塚建次郎氏(中央)を支える派遣メカニック5人。左から二人目が下谷氏、右が中根氏。写真上、篠塚氏の走行、写真下3点、選考会の模様。このほかに面談や体力審査などがあり、厳しい審査が行われた。



# 熱気溢れる LANCER EVOLUTION IV 試乗会



数々の戦歴を通して磨かれたランサーに流れるラリーの血統。究極の舞台のなかで培われた技術と経験をフィードバックして新たに開発されたランサーエボリューションⅣ。

その試乗会が、8月9日(金)福島県二本松市の「メーハイランド・エス・エス・パーク」で行なわれ、CMSC各支部から43名の参加があり、新型車への熱い期待が感じられました。当日は、車両の紹介・説明が行われた後、ダートコースと、ジムカーナコースとにわかれ、それぞれの仕様の車両で参加者の試乗が行われる間に、篠塚建次郎氏、片岡良宏氏のデモ走行、同乗走行などが行われました。そしてその性能を肌で実感していただいた後に、それぞれの印象を交換したり質疑応答が行われたりと、さすが実際にその戦力を見に参加しただけあって、熱のこもったものになりました。

'97年からWRCへ投入される予定のランサーエボリューションⅣ。その能力は、参加されて実際にその戦力を実感された各支部の方から会員の皆様にすでに伝わっていると思います。

全国で活躍されている我らがCMSC会員の方々に、また1台強い味方が登場したようです。

写真上、全国から集まった参加者。写真中左、篠塚氏によるデモ走行。写真中2点、熱気溢れる試乗会の模様。写真下左、エボⅣの紹介と説明を熱心に聞く参加者。写真下右、ジムカーナコースでのデモ走行。



CMSC道北 8月4日

CMSC道北エンジョイジムカーナ

去る、8月4日旭川市春光台教習所特設コースにて第2回CMSC道北エンジョイジムカーナを開催いたしました。参加台数はAⅠが6台、AⅡが17台、AⅢが4台、AⅣが3台の計30台と少し寂しい状況ですが、地方(北海道で言う地方とはかなり遠いのです)

## 北海道の定番イベントに育てたい

からも多くの方に駆けつけていただきました。コースの作成は昨年同様田口選手。彼らしいハイスピードな設定で、さながらミニサーキットタイムトライアルといった感じ。

当日は朝方強い雨が降ったものの、何とか持ち直し、開会式ではラリーアートから視察に来られた

須賀様にご挨拶いただき、無事1号車のスタート。参加選手それぞれに、1日を満喫していただきました。

来年度も是非、第3回を開催し、地元北海道に定着した競技会に育て上げたいと、クラブ員一同思いを新たにしております。(CMSC道北 栗澤 傑)

# 三枝光博選手 **CMSC** 岐阜 卓、全日本ダートラ4・5戦 AⅢ クラスを連覇。3連勝で今季4勝目!

'96全日本ダートラ選手権第4戦「'96北海道ダートライアルスペシャルinスナガワ」が、6月22・23日北海道砂川市の「オートスポーツランドスナガワ」で開催されました。

前半戦締めくくりのこの大会、参加台数は昨年を上回る145台。この激戦の中、AⅢクラスではCMSC岐阜卓の三枝光博選手がミラージュ(C73A)で勝利しました。

そして続く第5戦「大誠テクノCUPトライアル・ド・ニッポン」は7月6・7日福島県二本松市「エスエスパークサーキット」にて開催。後半戦最初のこの戦いで三枝選手は第1ヒート、第2ヒートともに、ただ一人1分43秒台を記録する圧倒的な強さを発揮。昨年のシリーズチャンピオンを抑えて第3戦からの3連勝で、今季4勝目を挙げました。

この大会で3ポイント差でポイントトップに立った三枝選手。シリーズチャンピオンに向けての後半戦の走りが大いに注目されます。



今季4勝目と好調の三枝選手。

# AⅡクラスでは、篠田大作選手 **CMSC** 岐阜 卓が、全日本ダートラ5・6戦連勝して波に乗る。



## CMSC岐阜 篠田大作 全日本ダートラ第5・6戦優勝記

95年度、AⅢで走ってきた私は、中部地区チャンピオンを取ったものの全日本戦ではシリーズ8位と、優勝という二文字には手が届きませんでした。そして今年、クラスをAⅡに変更。全日本オンリーで自分自身に厳しくし、この激戦区で一旗掲げるべくミラージュ(CJ4A)に乗ってスタートしました。

第1戦から4戦迄は1本目は上位に食い込むものの、2本目で自分自身のプレッシャーに負け、成績が出せませんでした。そして今季5戦目にして集中力の持っていく方、車のメンテナンスを最重要視。徹

底的な軽量化と足回りのバランス、練習の甲斐あって、優勝につながりました。続く第6戦も第2ヒートで逆転し、連勝できました。良きチーム員のアドバイス、サービス等皆の力があって全ての条件が揃った時に初めて、全日本優勝の道が開けるんだなと痛感した勝利でした。この気持ちを忘れずに今後も徹底的に全日本を楽しみたいです。



連勝してのシャンパン・シャワー。篠田選手。

CMSC島根 古藤浩美

### コトーの連続コーナー③

最強のしるし

ランエボの魅力はやはり強靱なバネと乗り心地にあり、リヤサスペンションは、

トレンディな若者に大人気、橋梁へのフルシタマ

これはさん新だ!!

あーありがたやー! 大島居型リヤスポ

後部サスペンションの改良、お待たせしております

三菱車開発の旨味、採用のお電話をお待ちしております

CALL ME 0852-27-0000

CMSC島根 8月4日

CMSC島根チャレンジカップダートトライアル

今回のCMSC島根ダートラは何かいつもと違って  
いました。初めてのコース(広島県テクニクス  
ステージ・タカタ)、台数は日本海(山陰)シ  
リーズ前代未聞の99台(昨年34台)、オフ  
シャル車は前日到着直後スタック、光電管  
は3基用意して全部トラブルの嵐、地形や  
林の影響で無線はほとんど通じない、放  
送設備の不調でアナウンスは全く聞き取  
れない、快晴なのに雨がバサバサよく降  
る、コントロールタワーからは走行車が  
95%見えない、転倒やクラッシュやリ  
タイヤが多発、まるで悪魔が憑いたかの  
ような「試練の大会」となっていました。し  
かし、このイベントを最後にはキッチリ  
まとめあげた事で、オフィシャル一同  
固い結束と、かつてない達成感を得るこ  
とができました。(それにしても疲れた〜)

競技の方はAIIクラスはCA4Aミラー  
ジュのワンツーフイニッシュをはじめ  
10位内6台がミラージュ。AIIIは6位  
迄全車ランサー。CD四駆クラスでも  
1・2・4位がギャランと、絵に描いたよ  
うな三菱車上位独占でした。

# ガッツで「試練の大会」克服



ところで隣のCMSC広島の皆さん、来年は前夜  
に合コン(?)しましょう。でも「奉仕作業」を願  
いするかも……。 (CMSC島根 古藤浩美)



CMSC島根 6月30日

CMSC島根チャレンジカップジムカーナ

梅雨のド真ん中、早朝までの風雨が嘘のよう  
に、会場の備北ハイランドパークは開会式  
にはギンギンのドライになり、またも「  
CMSC島根・晴天連続記録」を更新しま  
した。参加台数も日本海(山陰)シ  
リーズ本年最多の86台。全日本ラン  
キング選手も参戦しての「メイク  
ドラマ・ジムカーナ」となりました。

公認4クラス中、初優勝が3人。各クラス  
で三菱車対他社勢の激突が展開されま  
した。おまけイベント「阪神大震災  
チャリティーパイロン1発勝負トライ  
アル」も参加料500円ながらも35台  
もの出走で大いに盛り上がりました。  
マンガ、記事満載のエントラントリ  
ストも大好評、1日ノンストップで  
しゃべりまくる絶叫アナウンサーも  
大受け。噂を聞いて参戦いただいた  
他地区の選手の方にも大いに喜ん  
でいただきました。

それにしてもジムカーナの場合、5年前には三菱

# 「メイクドラマ・ジムカーナ」に86台参加!



車でエントリーすればミニカでもスタリオンでもラリー  
アート賞が手に出来ましたが、近年ラリーアート賞自  
体が超激戦区になったのは感無量です。我々クラ

ブ員もグレートな試走タイムを出さねばと練習に励  
む今日この頃です。 (CMSC島根 古藤浩美)

CMSC岩手 6月23日

ダイヤモンドトライアル

岩手県雫石町にある岩手高原モータースポ  
ーツランドに於いて、岩手三菱ダイヤモンド  
トライアルを開催しました。あいにく早  
朝から濃霧、雨という最悪のコンディ  
ションでしたが、遠くは青森、福島か  
らの選手も交えての大会となりました。

中でも特筆すべき選手はCMSC青森の館山  
さんでした。病み上がりの体ながら筆舌  
に尽くしがたいパワフルな走り、脚光  
を浴びていました。途中、横転という  
お約束の(?)アクシデントもありま  
したが、どの選手も上位入賞という目  
標に向かい、龍虎相打つ激しいバトル  
が繰り広げられました。

今回私はオフィシャルとして初めて参  
加しましたが、想像以上の迫力に興  
奮し続けました。改めてラ

# 雨中の龍虎戦は迫力満点

ンサーエボリューションというマシンが怪物である事  
を実感しました。出走された選手、スタッフの方々、ご  
苦勞様でした。 (CMSC岩手 小室拓也)



CMSC香川 7月13~14日

'96CMSCダイヤスターラリー

中国、四国地方選手権第3戦として7月13~14日、'96CMSCダイヤスターラリーを開催しました。海外ラリーでも有名な田口盛一郎選手を含む56組が参加し、競技は5本のSSを含む160kmで行いました。

結果の方はB I で河村・重本組ミラージュ、B II で藤井・北峰組ミラージュ、Cで二野下・梶山組ランサーが(田口・原野組ランサーはSSはトップでしたがラリー区間で沈没)それぞれ優勝しました。

最後になりましたがラリーアートの須賀様、熱帯夜の中お疲れ様でした。(CMSC香川 白井 修)

# 気温も選手もヒートアップ



写真上、オフィシャル全員集合。下左より、河村・重本組、藤井・北峰組、二野下・梶山組、田口・原野組。



CMSC青森 7月27~28日

'96ツール・ド・東北

ネプタ嚙子が聞こえる7月27日、今年もJAF地方ラリー選手権B・C地区第6戦として'96ツール・ド・東北を開催しました。規定枠を超える申し込みを受け、選考された60台が岩木海洋センターに集合。CMSC群馬の船津選手、CMSC千葉の丹羽選手など、昨年同様多くのCMSC勢が参加、ラリーを盛り上げてくれました。

さて、ラリーはスタート場所を昨年まで使用した岩木山総合公園から岩木海洋センターへと移し、まだ明るい午後5時31分にスタート。第1ステージは例年と同じ岩木山周辺へ進みラリー区間とSSを終え、今年新しく設定した1ステ最終SSへと走り、給油後レスコン地点へ。約60分の休憩後SS主体の第2ステージへ。2ステ最後の第5SSは約8.5kmのヒルクライムへアタック。ここまでBクラス、ダントツのトップで走っていたCMSC群馬の船津選手。スタートする時

# 念入りな準備で迎えた開催



の気合いはすごかったが約1.4km先でエンジンストップで万事休す。来年に期待します。大きな事故も無く予定通り終了できました。

今回の開催にあたり、例年同様数ヶ月前からの準備や草刈り、安全対策にと何回もコースへ入り危



険箇所でのチェックやコース整備してくれたクラブ員には心から感謝します。ご支援、ご協力下さいました関係各位の皆様、ありがとうございました。

(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)

CMSC青森 6月23日 8月11日

'96CMSCジムカーナin岩木

5月26日のシリーズ第1戦から約1ヶ月後の6月23日にシリーズ第2戦を開催しました。第1戦の参加台数が52台、第2戦が57台と徐々に台数も増え、主催者としてもやる気が出てきます。

そしてシリーズ最後の第3戦は8月11日に開催。なんと参加台数が84台と、当クラブが開催したジムカーナでは過去最高台数となりました。中には遠く仙台からの参加もあり、運営にあたるオフィシャルの面々は大張り切りでした。

会場の岩木山スキー場特設コースは前日からの練習走行も自由出来ることから、多くの選手が思い思いに足回りやタイヤの感触を確かめて

# 一戦毎に増えた参加台数

いました。前日の夜には選手有志による焼き肉パーティーも催される等、勝手に盛り上げてもらいました。

今年のシリーズ戦はクロズドクラスを併設して行いました。来年もクロズドクラスを設け、気軽に参加できるモータースポーツ入門篇として、地域におけるモータースポーツ活動を続けて行けるよう頑張りたいと思います。

最後にシリーズ3戦、毎回オフィシャルとして頑張ってくれたクラブの仲間と、協賛していただいた皆さんに感謝いたします。これからもジムカーナ発展の為によろしくご支援、ご協力お願いします。(CMSC青森 小館 久)



# 田口幸宏選手 CMSC 埼玉、全日本ラリーBクラス 5~7戦連覇でシリーズチャンプ確定!

'96全日本ラリー選手権第5戦「'96ノースアタックラリー」が、7月6~7日北海道勇払郡占冠村から夕張市にかけての約400kmのコースで行われました。距離の長い多彩なSS設定が特徴のコースでしたが、冷たい雨の降るあいにくのコンディションの中、過酷なラリーとなりました。今シーズン、新型ミラージュを擁するCMSC勢同士の激しい戦いが繰り広げられているBクラス。この大会もCMSC埼玉の田口幸宏選手、道北の鎌田卓麻選手、鹿児島県の原口真選手がデッドヒートを展開しましたが、田口選手が全てのステージをトップタイムで通過して圧勝しました。

第6戦「ひえつき'96夏」は7月20~21日宮崎県東臼杵郡椎葉村で開催されました。台風6号の影響で204kmあまりに短縮された荒れたコースを制したのは、第5戦に続いて埼玉の田口選手。

そして大詰めを迎えた第7戦、「'96HELOM RALLY MEETING」が福井県敦賀市で9月7~8日に開催されました。この大会でもCMSC勢同士の、互いに一歩も引かない激戦が繰り広げられました。前半やや出遅れた田口選手でしたが第3ステージで逆転。見事3連勝で今季4勝目を手にするとともに、道北の鎌田卓麻選手と争っていたチャンピオンの座を手中に収めました。



5~7戦を3連勝。今季4勝をあげ、シリーズチャンピオンを決定した田口選手と第6戦の走り。

## CMSC秋田誕生、東北全県に支部が

この度、秋田三菱自動車販売(株)様のご協力のもと、コルトモーターススポーツクラブ21番目の支部としてCMSC秋田が皆様のお仲間に加えて頂く事になりました。準加盟クラブとしてスタートしましたので、当面はラリーを中心にジムカーナ、ダートトライアルへの参加が活動の中心になります。和気あいあいと

活発に参加しながら仲間を増やして行き、いずれは地区戦のラリーを開催できるようなクラブにしてゆきたいと思えます。

他の東北各県は歴史あるCMSCなので、同じCMSCの一員として恥ずかしく無い様に頑張りたいと思えます。これから活動して行くにあたって未熟な点は多々

あるかと思いますが、よろしくご指導の程お願いいたします。

(CMSC秋田 佐藤祐一)



会長の近藤隆行氏

## このまま道北がつつ走ってしまうのか?



道北のリードがさらに広がっています。序盤の勢いがさらに増してポイントを重ねています。部門別で

は、ダートラをのぞいて変動がみられます。さあ、後半戦。みなさん、ラストスパートですね。

### ●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
道北	833	1092			1925
大阪	609.5	526.5			1136
香川	495	472			967
群馬	468.5	452			920.5
青森	351	454			805
広島	254	523			777
福島	328	423			751
帯広	376	353			729
山形	311	220			531
浜松	286	224			510
岐阜	212.5	247			459.5
札幌	141	185			326
島根	103	181			284
鹿児島	119	110			229
埼玉	100	106			206
仙台	77	93.5			170.5
栃木	52	97			149
愛知	70	3			73
秋田	-	44			44
岩手	40	0			40
千葉	2	0			2

### ●ラリードライバー部門

鎌田卓麻	道北	220
田口幸宏	埼玉	146
細村謙一	群馬	137
鎌田豊	道北	136
奴田原文雄	札幌	106
大沢克行	帯広	92
原口真	鹿児島	91
小林康弘	帯広	81
杉山聡	道北	50
嶋口中也	青森	40

### ●ラリーナビゲーター部門

細村祐子	群馬	137
川村知恵	道北	64
伊吹浩明	帯広	60
朝岡達也	愛知	60
遠藤昇	仙台	29.5
対馬隆志	青森	26
生井重男	帯広	25
野村佐江子	広島	21
中村洋次	帯広	20
伴英憲	青森	20

### ●ダートトライアル部門

秋間忠之	大阪	582
小出久美子	大阪	401
高竹優之	香川	294
三浦正博	道北	266
森新次	香川	206
平原和幸	広島	197
宝田芳浩	札幌	195
三枝光博	岐阜	178
岩根つもる	広島	158
白井修	香川	157

### ●ジムカーナ部門

久保田明	青森	266
山下亘	道北	246
須田行雄	福島	245
丹羽裕一	道北	236
小館久	青森	224
大久保法世	道北	192
大泉剛	福島	124
平山敦朗	浜松	113
小寺久美	道北	110
三崎朋弘	帯広	110

### ●レース部門

高橋滋	仙台	118
小川日出生	山形	102
笠原昌二	山形	76
川口法行	栃木	24
吉沼昭彦	栃木	24
内堀篤史	栃木	24

### ●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント	A 40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
	B 20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

リタイアには予選不通過も含む

A = 全日本選手権(含む、レディースクラス)、地方選手権(除く、レディースクラス)

但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル

ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ

レースにはミラージュカップ、NI耐久レースを含む

B = それ以外の競技会